

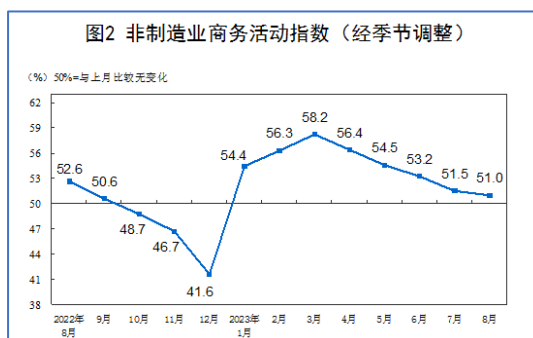
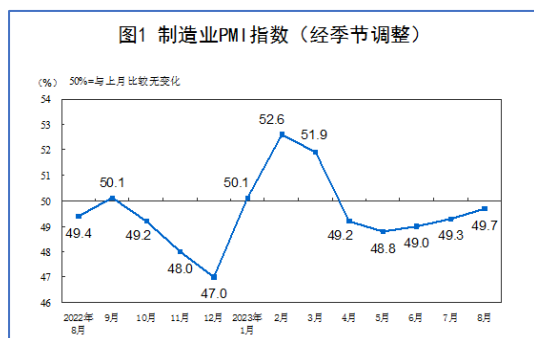
中国（上海）ビジネスサポート

Monthly China News

*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

【政治・経済】

- 李強総理が G20 サミット第 1 段階会議に出席し重要演説を発表：李強総理は現地時間の 9 日午前、インドの首都ニューデリーで開催された第 18 回 G20 サミットの第 1 段階会議に出席し、重要な演説を行った。李総理は、「G20 メンバーは団結協力の初心を堅く守り、平和と発展という時代の責任を負わなければならない。我々はマクロ経済政策の協調を着実に強化し、世界経済の成長のために原動力を提供し、グローバル経済の回復を推進するパートナーになる必要がある。我々は経済グローバル化を揺るぎなく推進し、グローバル産業チェーン・サプライチェーンの安定と円滑な流れを共同で守り抜き、グローバル開放協力を推進するパートナーになる必要がある。我々は地球を共同で守り抜き、グリーン・低炭素の発展を促進し、海洋の生態環境を保護し、世界の持続可能な発展を推進するパートナーになる必要がある」と指摘した。（9/10 新華社・人民網）
- 中国 1-8 月の外資導入額 8,471 億 7 千万元、新規外資系企業 33%増：中国商務部（省）がこのほど発表したデータによると、2023 年 1-8 月、全国の新規外資系企業の登録数は前年比 33%増の 3 万 3,154 社となり、実行ベース外資導入額は同 5.1%減の 8,471 億 7,000 万元（1 元は約 20.3 円）だった。業界別に見ると、製造業の実行ベース外資導入額が同 6.8%増の 2,399 億 5,000 万元だった。ハイテク製造業が同 19.7%増、そのうち電子・通信設備製造業が同 39.7%増、医療機器設備・計器製造業が同 25.6%増となった。ハイテク技術サービス業のうち、研究開発と設計サービス分野の実行ベース外資導入額は同 57.1%増加した。投資元の国・地域を見ると、英国、カナダ、フランス、スイス、オランダ、ドイツの実行ベース対中投資は前年比でそれぞれ 132.6%増、111.2%増、105.6%増、59.2%増、25.3%増、20.8%増だった（自由貿易港経由の投資データを含む）。（9/18 人民網）
- 8 月製造業 PMI は 3 ヶ月連続上昇：中国物流調達連合会と国家統計局サービス業調査センターがこのほど発表した 8 月の中国の製造業購買担当者景気指数（PMI、下記図 1）は前月比 0.4 ポイント上昇の 49.7%となり、3 ヶ月連続して上昇しており、ここから経済の持続的な安定回復傾向がうかがえる。非製造業購買担当者景況指数（非製造業 PMI、下記図 2）は 51.0%、前月から 0.5 ポイント下回ったが、景気後退の臨界点である 50 を上回っている状態だった。（9/1 中国国家统计局・人民網）



- ・ 8 月全国の消費者物価指数（CPI）は前月比 0.3%上昇、生産者物価指数（PPI）前月比 0.2%上昇：国家統計局によると、8 月全国の消費者物価指数（CPI）は、前年同期比で 0.1%上昇した。そのうち都市部は 0.2%上昇、農村部は 0.2%低下。食品価格は 1.7%低下、非食品価格は 0.5%上昇。また、消費財価格は 0.7%低下、サービス価格は 1.3%上昇だった。1-8 月の平均 CPI は同 0.5%上昇となった。また、8 月の CPI を前月比で見ると、0.3%上昇となった。そのうち都市部は 0.2%上昇、農村部は 0.4%上昇。食品価格は 0.5%上昇、非食品価格は 0.2%上昇。また、消費財価格は 0.4%上昇、サービス価格は 0.1%上昇だった。また、生産者物価指数（PPI）は前年同月比で 3%低下、前月比で 0.2%上回り、下落幅は前月より 1.4 ポイント縮小。安定供給価格政策は持続的な効果があるとみられる。（9/11 人民網・国家統計局）

【製造業関連・関連の政策等】

- ・ 中国 8 月の自動車販売量、前年同期比 8.4%増の 258.2 万台：今年 8 月には、中国の自動車生産量は前年同期比 7.5%増の 257.5 万台となり、自動車販売量は前年同期比 8.4%増の 258.2 万台だった。1-8 月期のデータを見ると、自動車の生産量は前年同期比 7.4%増の 1822.5 万台で、成長率は 1-7 月期から横ばいだった。販売量は同 8%増の 1,821 万台で、成長率は 1-7 月期より 0.1 ポイント低下した。8 月の新エネルギー自動車の生産量は前月比 4.7%増、前年同期比 22%増の 84.3 万台、販売量は前月比 8.5%増、前年同期比 27%増の 84.6 万台で、市場シェアは 32.8%に達した。1-8 月期の新エネ車の生産量は前年同期比 36.9%増の 543.4 万台、販売量は同 39.2%増の 537.4 万台となり、市場シェアは 29.5%に達した。（9/12 中国工業信息化部・人民網）
- ・ 社会融資規模が 8 月に大幅増、中国経済は回復と好転を維持：中国人民銀行が 11 日に発表した 8 月の金融統計データによると、8 月末の中国の社会融資規模残高は前年同期比 9%増の 368 兆 6100 億元だった。また 8 月の新規人民元建て貸出は前年同月比 868 億元増の 1 兆 3600 億元で、新規社会融資規模は前年同月比 6316 億元増の 3 兆 1200 億元。社会融資データの伸び率が 8 月に上昇したことは、中国のマクロ経済の全体的な回復を反映している。8 月に社会融資データが大幅に回復したのは、中国政府の各部門が共に打ち出した効果的な政策のサポートの成果だ。これはまた、中国経済の長期好転のファンダメンタルズに変化がなく、質の高い発展の大きな流れに変化がないことを力強く証明した。（9/19 人民網）※社会融資総量とは、銀行貸出、オフバランス融資、債券発行、株式発行等を合計した中国独自の指標。

【トピックス】

1：5 分の充電で 300km 走行 新エネ車完全水冷式スーパー急速充電スタンドが稼働開始

5 分の充電で 300km 走行可能となった。広西壮（チワン）族自治区初の新エネルギー車完全水冷式スーパー急速充電スタンドである南寧国際会展センター電源南網太陽光貯蔵新エネルギースーパー急速モデルプロジェクトが完成し、稼働開始した。広西は近年、新エネルギーの推進行動と新エネ車推進 3 カ年計画（2021-23 年）を実施し、充電スタンドの「すべての県におけるフルカバー」、充電ポールの「すべての郷におけるフルカバー」、高速道路サービスエリアのフルカバーを実現した。充電インフラ整備と新エネルギー車推進により、新エネルギー車産業の発展を支えた。現在まで広西で完成した充電施設は 14 万 4000 ヶ所。うち公共充電施設は 6 万 5000 ヶ所、バッテリー交換ステーションは 59 ヶ所で、新エネルギー車産業の発展を力強く支えた。（9/4 科技日報・人民網）

2：内陸なのに水産物が豊漁？ 新疆の養殖産業が急成長

新疆維吾爾（ウイグル）自治区では近頃、サーモンやティラピア、バナメイエビなどの水産物が相次いで「豊漁」になり、中国国内の市場はもとより、ロシアやシンガポールなど海外へも売られて

いるという。新疆はユーラシア大陸の内陸部に位置し、「海から最も遠い場所」とされるが、伊犁（イリ）地区の尼勒克（ニルカ）県は実は冷水魚の養殖に最適な場所だ。伊犁地区の3大冷涼エリアの1つである同県は、基本的に酷暑にならず、天山山脈に沿って流れる喀什川には氷河の雪解け水が流れ、水深6メートル以上の場所は水温が年間を通じて10度以下で、冷水魚の成長に非常に適した自然の条件が備わっている。2014年、同県が冷水魚類の成長に最適であることから、新疆天蘊有機農業有限公司が投資してサーモン繁殖拠点を建設した。22年11月1日、デンマークからはるやって来たサーモンの卵160万粒が同県に到着し、同社の繁殖センターで孵化した。24年末には3000トン前後のサーモンを出荷できるようになる見込みで、同県の冷水魚の付加価値を高めるものと期待されている。冷水魚だけでなく、新疆各地で資源をうまく利用した養殖拠点作りが行われ、ティラピアやバナメイエビ、クルマエビ、ノコギリガザミ、スズキ、ハタなどが養殖されている。「土地がやせて荒涼としている」という印象をもたれるゴビ砂漠だが、今では新鮮なおいしい水産品を生み出す養殖拠点となっている。(9/6 人民網)

3：中秋節＋国慶節8連休、「空港のある小都市」がコスパ重視の若者に人気

中秋節（旧暦8月15日、今年は9月29日）と国慶節（建国記念日、10月1日）に合わせて、今年は9月29日から10月6日まで8連休となる中国。旅行サイト・去哪儿のデータによると、国慶節である10月1日の鉄道乗車券が9月15日から発売開始され、北京から武漢、西安、鄭州、長沙などへ向かう複数路線の鉄道乗車券が発売後わずか30分で完売した。また、今年の長期連休中の航空券販売のピークも予想より早く到来した。去哪儿のデータでは、9月15日の時点で、連休期間中の人気都市の航空券予約数は、2019年同期より20%以上増加しており、人気都市のホテルの予約件数は2019年同期の6倍となった。今年の中秋節＋国慶節8連休で旅行に出かける人数は過去5年間で最も多いと予測されている。去哪儿のビッグデータ研究院は、「北京、上海、成都、広州、杭州などの人気都市のほか、コスパ重視の若者たちが、河北・邯鄲、河南・洛陽、広西・柳州、江蘇・淮安、黒竜江・伊春など、飛行機で行ける『空港がある小都市』に旅行に行く傾向がある。このような交通が便利で、インフラやサービスが大都市に引けを取らない『小都市』は、この8連休に旅行者のピークを迎えるだろう」と分析している。(9/18 人民網)

4：中国の「墨子」サーベイ望遠鏡が観測開始、1枚目のアンドロメダ銀河の画像を発表

中国科学院は17日、中国科学技術大学・中国科学院紫金山天文台のワイドフィールドSサーベイ望遠鏡（WFST）である「墨子」サーベイ望遠鏡が同日、正式に稼働開始したと発表した。同望遠鏡は有効開口面積が広く、迷光が少なく、システムの探査の感度が高く、高いサーベイ能力を持ち、3夜毎に北天半球全体を1回巡回観測でき、北半球における光時間領域サーベイ能力が最も高い設備だ。同望遠鏡の完成により、中国の時間領域天文学の研究能力が大幅に向上し、世界の先端レベルに達した。同望遠鏡は同日、1枚目のアンドロメダ銀河の画像を発表した。これは約1ヶ月の設備運転テストにより、同望遠鏡の設備が設計基準をほぼ満たし、天文学の観測研究が可能になったことを示している。(9/18 中国新聞網・人民網)

5：アジア初の100人収容可能な洋上風力発電アクセス船が進水

16日に明らかになったところによると、アジア初の100人を収容可能な洋上風力発電アクセス船（CTV）が進水した。同船の全長は93.4m、型幅は19m、設計速度は12.3ノット、航続力は30日以上で、すべての海域を航行可能。科技日報が伝えた。さらに同船は船舶の測位能力と精度を高めた。新たに開発された中国初のヒープ補正機能を備える伸縮可能な栈橋とアーム型海洋クレーンを持ち、厳しい海況における人員または設備の輸送と風力発電所の維持管理を行うことができ、その安全性

と作業効率は一般的なCTVを大きく上回り、船舶の運営・維持管理期間を大幅に延ばしている。同船は稼働開始後、もっぱら岸から40km以上離れた大型風力発電所で使用される。(9/18 人民網)

【杭州アジア大会】

開会式：アジア競技大会史上初の「デジタル+リアル」融合の聖火点灯

浙江省杭州市で9月23日、第19回杭州アジア競技大会（杭州アジア大会）の開会式が行われた。同日夜9時28分頃、聖火点灯が行われた。これまでの聖火ランナー1人による聖火台への点灯とは異なり、杭州アジア大会では「デジタル聖火ランナー」としてさらに多くの人々が点灯に参加した。杭州アジア大会では、採火式開催後、オンラインでの「デジタル聖火ランナー」イベントをスタート。杭州アジア大会のデジタル聖火ランナーの数は1億400万人以上に達した。アジア競技大会史上初の「デジタル+リアル」融合の聖火点灯となった。(9/23 人民網)

選手村：スマートな選手村を一足先に見学

アジア競技大会（杭州アジア大会）の競技場以外の最大施設である杭州アジア大会選手村は、選手、同行する役員・メディアに食事・宿泊・移動などの24時間サポートサービスを提供する。選手村ではスマートホーム、5Gネットワーク、モノのインターネット（IoT）などの先端技術が広く応用されており、大会をサポートするだけでなく、選手たちに快適で便利な生活体験を提供することになる。選手村を歩くと、各種スマートロボットに会うことができる。

選手村の拡張現実（AR）スマートバスは、全自動巡航モードで乗客に乗り継ぎと解説のサービスを提供できる。車載AR機能を搭載した車窓は、車外のリアルタイムの映像を見られるだけでなく、バーチャルのシーンも融合でき、非常に不思議な体験ができる。

選手村では、チョコレート3Dプリンターがある。杭州のランドマークである雷峰塔、三潭印月、城市之門などを、3-5分で美味しいチョコレートにプリントできる。(9/21 人民網)

【イベントセミナー】

1：【来場募集中】FBC 上海 2023 in PTC 10月24-27日 上海新国際博覧中心

*（公財）大阪産業局上海代表処は FBC ものづくり商談会の共催団体になっています。

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技（上海）有限公司）

上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心2階268室